

舞台芸術アーカイブ講座とは？

「記録」を「創造」へ

幕が下りた瞬間に消えてしまう演劇やダンス、パフォーマンスは、まるで「ドーナツホール」のように、中心にありながらそれ自体を保存することができません。「舞台芸術アーカイブ」は、公演映像、戯曲、ポスターやフライヤー、チケット、衣装、舞台装置図、舞台写真、劇評など、関連する資料が失われる前にできる限り多く収集・保存し、利活用していく取り組みです。様々な資料によって形成された厚みのある「ドーナツ」は、経験や知、舞台の記憶を未来へ受け継ぐだけでなく、Webサイトの充実や助成金申請、そして新たな創造活動の基盤にもなる重要な財産です。

現場ですぐに活かせる知識とノウハウを

本講座は、早稲田大学演劇博物館による人材育成事業「ドーナツ・プロジェクト」(令和4年度～6年度文化庁「大学における文化芸術推進事業」)を、一般社団法人EPADがより実践的な講座として発展させたものです。私たちは、すでに現場に存在する記録こそがアーカイブの出発点であると考えています。舞台芸術の創作やマネジメントの現場で日々奮闘されているみなさまに、ご自身の活動に即した形でアーカイブを構築・運用していく際にお役立ていただけるよう、昨年度に引き続き実務の中で活かせる講座を新たにご用意しました。

舞台芸術アーカイブの実践者であるEPADだからこそ

私たちEPADは、これまで数多くの公演映像の収集・権利処理・公開サポートのほか、上映会や教育活用、多言語字幕や情報保障の付与といったアーカイブの利活用も幅広く実施してまいりました。そんなEPAD主催だからこそ、アーカイブを単なる「記録・保存」としてではなく新たな観客との出会いの創出、次なる作品を育むきっかけとしての捉えつつ、撮影データや資料管理など「現場ですぐ役立つ」知識をお届けします。

EPADホームページ



舞台芸術 アーカイブ 講座 2026

現場で
すぐ役立つ、
記録保存の
スキル



学生の自分にも
十分理解できる内容だった
(10代 学生)

文化施設で働く立場としても
収録と保存の講座は
とても勉強になりました
(60代 文化施設職員)

講座のまとめ資料が
現場に活かして助かる！
(20代 劇団制作)

対談形式の講義は
発見がたくさんあって面白い！
(50代 団体職員)

整理を進めるうえでの
具体的な内容で
実践のイメージができた
(30代 会社員)

昨年度 受講生の声



講座監修者より

監修 早稲田大学教授 岡室美奈子

舞台芸術の公演資料を整理・保存しておく
と作品創造や広報宣伝や助成金申請などに幅広く役立ちます。
そこはわかっているけど時間がないし面倒だしやり方がわからないし……と後回しになりがち。この講座はそんな忙しいみなさまにアーカイブのノウハウを効率よく、かつ網羅的に学んで
いただけるよう設計しました。リアルタイム講座や対面講習会では
受講者同士の横のつながりも生まれ、楽しみながら実践的な
スキルを身につけていただけるはずですよ！

予告 対面講習会 開催！

「現場からアーキビストに聞いてみよう！
～メタデータ作成も学べます～(仮)」

アーカイブについてのお悩みを相談しながら
メタデータ作成も学べる対面講習会

12月
都内にて
開催！

監修：岡室美奈子（早稲田大学教授） トータルアドバイザー：須藤崇規
映像制作：合同会社小声 撮影：三上亮、宮田真理子 デザイン：三浦佑介
協力：早稲田大学演劇博物館、STUDIOマドノソト
企画制作：EPAD事務局（辻村優子、木下京子）

問合せ：dounuts.info@epad.terrada.co.jp（舞台芸術アーカイブ講座）

リアルタイム講座＜全4回・オンライン｜修了証授与＞

2026
11.29(日)→12.7(月)

オンデマンド講座 配信中！
対面無料講習会 2026年12月都内にて開催！

主催：一般社団法人EPAD

文化庁 人材育成・収益化に向けた
舞台芸術デジタルアーカイブ化支援事業



舞台芸術アーカイブ講座2026

「舞台芸術アーカイブ講座2026」は、

「舞台芸術アーカイブ講座2025」と内容が連続しています。

「2026」だけでも実践的なスキルは学べますが、

より詳しく知りたい方は「2025」オンデマンド講座も併せてご視聴ください。



舞台芸術
アーカイブ”講座

リアルタイム講座のご案内 | 全4回Zoom開催

講師への質問や受講生同士の交流もできるオンライン・リアルタイム形式です。

講座の感想を共有しながら、アーカイブ活動へのモチベーションを育むことも目指した設計です。

講座詳細はこちら



定員

25名

- 全講座視聴+アンケート回答をもって修了証を授与
- 講座動画の視聴後、講師を交えて質疑応答
- 講座のまとめ資料を配布
- アーカイブ動画を共有 (リアルタイムで不参加の回もアーカイブ視聴+アンケート回答で出席扱い)

	リアルタイム講座日程	講師プロフィール
	0-0 ガイダンスと顔合わせ 11.29 (日) 14:00~15:30 (90分) 受講を通して繋がる! 動画視聴と活動紹介など、受講生同士の交流でアーカイブを学ぶモチベーションをグッと底上げ! リアルタイム講座ならではのキックオフ回。	講師 岡室美奈子 おかむるみなこ 早稲田大学教授 文学博士。ベケットを中心とする現代演劇とテレビドラマの研究を専門とする。日本演劇学会、デジタルアーカイブ学会、放送番組センター、橋田文化財団理事。2013年から23年まで早稲田大学演劇博物館館長を務め、在任中にJapan Digital Theatre Archives (JDTA) や舞台芸術アーカイブ人材育成事業「ドーナツ・プロジェクト」を立ち上げた。2024年12月EPAD理事に就任。
1. 基礎	1-0 舞台芸術アーカイブへようこそ! 歴史と概観 11.30 (月) 19:00~20:30 (90分) アーカイブを広い視野ではじめよう! 舞台芸術そのものがもつアーカイブ性とは? 舞台芸術アーカイブを学ぶための広い視点を共有し、講座全体の道しるべとなる講座。	講師 吉見俊哉 よしみしゅんや 社会学者・國學院大学観光まちづくり学部教授・東京大学名誉教授 1957年、東京生まれ。上演論的アプローチから都市論、メディア論を展開、日本のカルチュラル・スタディーズで中心的な役割を果たしてきた。長く東京大学で教え、同大学大学院情報学環長、副学長、東京大学新聞社理事長、東京大学出版会理事長などを歴任。主な著書に、『都市のドラマツルギー』『親米と反米』『大学とは何か』『五輪と戦後』『空爆論』『自己との対話』等、多数。
2. 実践 I	2-0 撮影データの基礎知識 12.4 (金) 19:00~20:30 (90分) 実は必須の基礎知識! 映像に関する基礎知識をわかりやすく解説。映像データへの理解を深め、現場で起こりやすい事例をもとに、適切に管理・保存するスキルを身につける実践的な講座。	講師 須藤崇規 すどうたかき 映像ディレクター 舞台芸術における記録映像ディレクションや舞台映像デザインを手がける。小劇場からホールまで規模の大小を問わず活動し、野外・ツアー型・体験型公演など多様な環境での作品への参加も多い。演出意図を丁寧に汲み取り、新しい鑑賞体験を創造している。記録映像上映会「ANTIQU」を企画・開催。東京藝術大学音楽学部音楽環境創造科卒、同大学院修了。現在は同大学で非常勤講師を務める。合同会社小声代表。
3. 実践 II	3-0 おさえておきたいテクニック 12.7 (月) 19:00~20:30 (90分) 基礎知識から資料保存のテクニックへ! 資料の整理、データの管理、保存の考え方など、記録物をアーカイブ化するために、整理・保管の具体的な方法を学ぶ講座。	講師 本間友 ほんまゆう 慶應義塾ミュージアム・コモンズ准教授 慶應義塾大学大学院(美学美術史学)修了後、同大学アート・センターにてアーカイヴの運営、展覧会の企画、地域連携プロジェクトの立案を行う。2018年より慶應義塾ミュージアム・コモンズの立ち上げと運営に携わる。現在アート・アーカイヴ、ドキュメンテーション、学術情報の文化イベントを通じたディストリビューションに焦点を当てた研究と実践を行っている。

参加方法 ●お申し込み時にご入力いただいたアドレス宛に受講生専用ページのリンクを送付 ●専用ページでは講座資料・URL共有の他、チャット欄を利用して質問やコメントも可能

こんな方におすすめ ●舞台芸術に携わっている方(制作者・スタッフ・実演家・アーティストなど) ●劇場や文化施設の職員 ●アートマネジメントを学ぶ学生 ●演劇部や自主団体の学生 等

受講料

一般 5,500円/U25 3,300円(要身分証) ※金額は全て税込・手数料不要

募集期間

2026年9月1日(火) 10:00 ~ 11月20日(金) 23:59

お申し込みはこちら



オンデマンド配信のご案内

「舞台芸術アーカイブ講座2025」配信中!

気になるテーマやご自身の課題に合った講座を「1講座」からでも!

舞台芸術アーカイブを多角的に学ぶ機会として「まとめて」でも!

「舞台芸術アーカイブ講座2026」
3講座も12月10日より配信開始

- 1-0** 舞台芸術アーカイブへようこそ!
- 2-0** 撮影データの基礎知識
- 3-0** おさえておきたいテクニック

- 定員なし
- 講座のまとめ資料を配布
- オンデマンド配信のため、講師への質疑応答はなし

	講座タイトル	内容	講師
1. 基礎	1-1 舞台芸術アーカイブのいま	舞台芸術の特性からアーカイブすることの意義、そして活用への課題までを公共的な視点から幅広く学ぶ。特に劇場や組織でのアーカイブには欠かせない基本的な視座を扱う基礎講座。	志村聖子 ライデン大学客員研究員
	1-2 権利処理入門	著作権、著作隣接権、肖像権といった「権利処理」の基礎を、現場に即した具体的なフローや事例を用いて分かりやすく解説する。全ての舞台人必見の内容!	福井健策 弁護士・ニューヨーク州弁護士・骨董通り法律事務所代表、一般社団法人EPAD代表理事、日本舞台芸術ネットワーク常任理事
	1-3 おさえておきたい基礎知識	そもそもアーカイブとは? 言葉の定義、整理を進めるための基礎知識から、具体的な資料整理のポイントまで、初心者にもわかりやすく実践の土台が学べる講座。	本間友 慶應義塾ミュージアム・コモンズ准教授
2. 実践 I	2-1 公演記録のノウハウ ~制作編~	収録の発注からアーカイブ化を見据えた場合の工夫など、現場の実感を交えながら制作プロデューサーと撮影者の対談形式でノウハウを深く掘り下げる。	坂本もも 範宙遊泳プロデューサー/ロコ制作 須藤崇規 映像ディレクター
	2-2 プロセスの記録	制作中、様々な立場で生み出される創作資料はどのように保存されていくのか。「アーカイブ」という言葉の堅さをほぐす、演出家とアーキビストによる対談形式の講座。	河井朗 演出家 本間友 慶應義塾ミュージアム・コモンズ准教授
3. 実践 II	3-1 公演記録のノウハウ ~記録映像編~	公演映像の編集は「翻訳」?! 「めんどくさいは幻想」?! クリエイターと撮影者の言葉から見てくる、上演を映像で記録するために現場で役立つ知識と活用事例が詰まった対談形式の講座。	山本卓卓 劇作家・演出家・俳優。範宙遊泳代表。 須藤崇規 映像ディレクター
	3-2 レッツ資料整理!	デジタルとアナログそれぞれのアーカイブの専門家と俳優による講座を、実際の収蔵庫からお届け。メタデータの作成や物理資料の管理までノウハウが凝縮された「使える」講座!	石本華江 慶應義塾大学アート・センター土方異アーカイブ 三坂恵美 EPAD事務局/Booster 辻村優子 俳優

受講料※1

1講座 1,500円

「舞台芸術アーカイブ講座2025」7講座 9,000円(配信中)
「舞台芸術アーカイブ講座2026」3講座 4,000円(12月10日(木)~配信開始)

オンデマンド講座申込

お申し込みはこちら



申込終了※2

2027年2月14日(日) 23:59

配信終了※3

2027年3月16日(火) 23:59

※1 金額は全て税込、購入手数料不要 ※2 視聴用ページ初回ログイン後、720時間視聴可能 ※3 配信期間が先に終わる場合はその前に視聴を終えてください

講座 プレトーク 無料公開中



豪華出演者が
舞台芸術
アーカイブを語る

「私たちは如何にしてドーナツとアーカイブを愛するようになったか」前編・後編

出演 ●吉見俊哉(國學院大学教授・デジタルアーカイブ学会前会長) ●太下義之(東京藝術大学客員教授)
●福井健策(デジタルアーカイブ学会副会長・EPAD代表理事) 司会 ●岡室美奈子(早稲田大学教授)



「なにを残す? 誰に手渡す? 観客とつながる舞台の未来」

出演 ●坂本もも(範宙遊泳プロデューサー/ロコ制作) ●滝口健(世田谷パブリックシアター)



「記録が創る新しい物語~創作とアーカイブをめぐる二つの対話~」

●ケラリーノ・サンドロヴィッチ(劇作家・演出家) ●岡室美奈子(早稲田大学教授) /
●萩京子(オペラシアターこんにゃく座代表・音楽監督) ●須藤崇規(映像ディレクター)

